

事務局長就任にあたり

名取 和幸



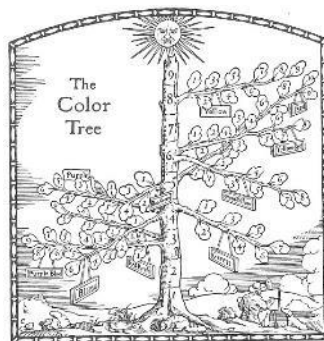
この度、2024年度から新事務局長となりました日本色彩研究所の名取和幸です。どうぞよろしくお願いいたします。なお、前任の赤木重文氏はこれを機に副会長とされますが、これからはきっと新しいテーマなどに精力的に取り組まれることでしょう。そして、当会事務局は引き続きベテランの大内啓子氏、中堅ともいえる佐々木三公子氏と共に（否、二人に完全に支えられて）運営を進めてまいります。

私が色教会員となったのは大分前のことです。その後事務局メンバーになりましたが、実際には夏の研修の開催サポート（そういう仕事好きです）や、色と絵本やカラーユニバーサルデザイン、PCCSをテーマ（これらのテーマも好きです）とした講師として、いわば外からお手伝いを続けてきたという感がありました。しかしこれからは会の活動を内側から推進する役を担っていくこととなります。

そこで、会の認知度を向上させ、他団体との協働活動を積極的に進めるため、日本色彩学会、美術による学び研、検定関係の団体などに当会を知っていただくように働きかけます。また、前号の「色彩教育のこれから」で茂木会長が述べられていた、幼児や高齢者、障害をもたれた様々な人たちと一緒に学びやデジタルのことなど、これからのテーマは、現在のそして新たな会員の方々とその進め方を考えていきたいと考えます。気楽な集いの、オンラインによる「色いろサロン」もそうした流れで生まれてきたものでしょう。

マンセル色立体が、中心の無彩色軸から様々な方向に色の枝が伸ばしているように、これからは自分が内側に立ち、会の活動の枝を伸ばすお手伝いをしたいと考えます。ご支援・ご指導の程、何卒宜しく願い申し上げます。

名取 和幸（ナトリ カズユキ）
日本色彩教育研究会 理事・事務局長



Munsell Color Tree

色々な色の枝を外に向けて広げたい
A. H. Munsell, F. Birren: A Grammar of Color 1969より

今回のトピック 美術・色彩教育は科学技術の進歩と共存できるのか

本号では、美術教育や色彩教育と科学技術の進歩との関係性について取り上げ、会津大学短期大学部で造形やデザインを専門に幅広く研究されている高橋延昌さんにご執筆いただきました。高橋さんには色いろサロン第8回にもご登壇いただき、トピックについてお話しただく予定です。

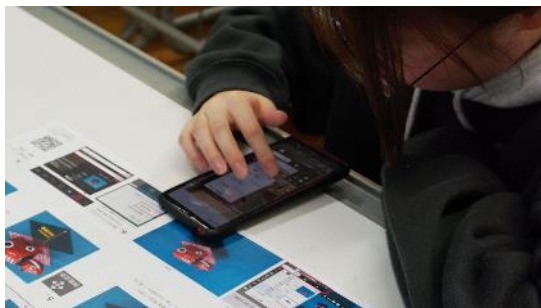
美術・色彩教育は科学技術の進歩と共存できるのか

高橋 延昌

情報技術の進歩が著しく、今やパソコンは当たり前、日常生活でスマートフォンが必須となり、さらに生成AI（人工知能）の話題がひっきりなしです。日々多忙な教員より児童生徒の方が柔軟に受け入れている現状かもしれません。

しかし、私見になりますが、現在の生成AIと仕事の関係については、1990年代に急変したデザインのデジタル化（DTP化）に近い肌感覚です。表面的な技術の脅威に惑わされず、普遍性または本質を見極める視点や教育がより大切ではないでしょうか。

例えば、最近はAIによって簡単に白黒写真をカラー化できます。基本的なしくみとして、人の肌はパールオレンジ、空は水色、葉は緑色というパターンに従って機械的に色補正しているだけです。逆にパターンどおりに色補正できない部分や、美が求められる着彩については人の判断が欠かせません。このようにマシンと人は共存できると私は思っています。



上左：1937年に撮影した白黒写真（補正前）

上右：白黒写真をカラー化（色補正後）

下左：スマートフォンで課題をこなす学生



プロフィール
高橋 延昌（タカハシ ノブマサ）

1971年宮城県生まれ。宮城教育大学で社会と美術の教諭免許を取得後、筑波大学大学院芸術研究科デザイン専攻を修了。民間企業などを経て、現在は会津大学短期大学部教授として色彩構成など基礎造形分野の授業を担当したり、地域に根差したデザイン活動中。また、福島大学人間発達文化学類の非常勤講師として視覚デザインを担当。詳細は研究室HP <http://takahainfo.com/>

会員リレーコラム

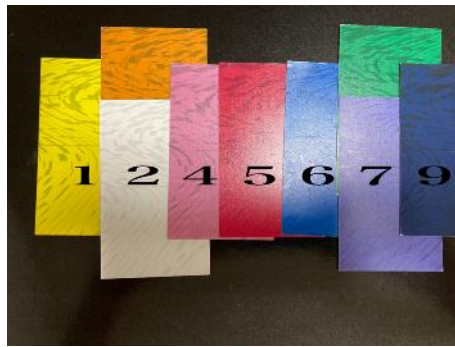
「感動が生まれる！アドバンスカラーセラピストお仕事体験」

2024年8月25日（日）大阪市中央公会堂で開催された、未来の授業オモローフェス「おしごとマルシェ」で、カラーセラピストのお仕事を子どもたちに体験いただきました。カラーセラピストのお仕事って？を説明。次に、参加されたお子様がお客様役を体験、その後、一緒に来ているおうちの方にカラーセラピストとして、お話を聴いていただき、サポートカラーカードをプレゼントしました。大阪市立の小学校はこの日が夏休み最終日。イエロー、オレンジ、ホワイトは、大人、子ども関わらず上位に選ばれることが多いのですが、夏休みが終わって、友だちに会える。保護者からは、やっと自分の時間がとれるとの安堵の声を聴きました。コミュニケーションスキルがup！ご家族の仲がグッと深まる時間で、お子さんの成長も感じられる感動体験となりました。

※アドバンスカラーセラピスト資格講座は企業研修ほか、佐野日本大学短期大学様 総合キャリア教育学科の教養実践科目の1つ「カウンセリング応用」の中でも導入されています。



お仕事体験の様子



松本 眞理子（マツモト マリコ）
アドバンスカラーセラピーティーチャー
修士（学校教育）

第7回色いろサロンを開催しました

2024年6月29日（金）に、第7回となる『色いろサロン』を開催しました。「プロダクトデザインと色」をテーマとし、安岡義彦さんに『不均一なCMFデザインのすすめ』についてお話しいただきました。

<参加者からのご感想>（一部抜粋）

『プロダクト自体の色の変化はもちろん、時代や価値観など受け手の感覚についても興味深いなと思いました。』

『「不均一であることを、今一度、ポジティブに捉え直す」ということ。これからは、“経年変化の魅力”を見越してものごとを見ていきたいなと思われました。』

『大量生産のプロダクトで今後どのようにこの不均一さが表現されてくのか楽しみです。』

第8回は10月25日（金）20時より開催予定です。たくさんのご参加、お待ちしております。

オンラインセッション 第8回『色いろサロン』のご案内

Color Circleで取り上げたトピックに関連するオンラインセッション『色いろサロン』の第8回を開催いたします。今回はテーマを『美術・色彩教育は科学技術の進歩と共存できるのか』として、執筆者の方に話題提供をしていただきます。

『色いろサロン』では、登壇者の方へのご質問はもちろん、参加者同士で意見交換を行い、会員同士の交流ができる場にしていきたいと考えています。

視聴のみのご参加も大歓迎です。会員の皆様、並びに本研究会にご関心のある方々、奮ってご参加ください。

●日時：2024年10月25日（金）20：00～21：00

●方法：ZOOMによるリアルタイム配信

●オンライントークの会の流れ

・Color Circle vol.08のトピック執筆者によるお話

高橋延昌さん

佐々木三公子さん（司会）

・トピックに関する質疑応答

・参加者全体、またはグループに分かれての意見交換

●参加費：

本研究会会員の方・・・無料

一般の方・・・1,000円

非会員のうち、学生で会員の紹介がある場合は無料

参加申込と同時にご入会いただいた場合は無料

●参加費のお振込先：

「郵便振替」「銀行振込」のいずれかよりお願いいたします。

郵便振替：00150-6-136277 色彩教育研究会

銀行振込：ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキョウ）店 当座 136277 色彩教育研究会

●お申し込み方法：以下のGoogle フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/S2DgZ3CJtZvxWLaZ8>

参加申込・参加費納入期限：2024年10月23日（水）

⇒10月24日（木）にZOOMのURLをお送りいたします。

※sikisaikyoiku@gmail.comからのメールが迷惑メールに分類されないよう、設定をお願いいたします。

※10月24日中にメールが届かない場合は、恐れ入りますが、事務局までご連絡をお願いいたします。

★こんなことを聞きたい、質問したい！等のご要望は、ぜひお申込フォームに記載をお願いいたします！

お問い合わせ先：日本色彩教育研究会事務局（sikisaikyoiku@gmail.com）



日本色彩教育研究会HP <http://shikikyo.jp/index.html>

発行人：茂木一司

製作：Color Circle編集委員会

（名取初穂、島田由紀子、手塚千尋、中島千絵、宮野周、大内啓子、佐々木三公子）

